

◆あなたはなぜ、だれのために勉強しますか？

6月末に1学期期末考査があります。少し前に中間考査をしたような気がして、またテストかーという気になりますね。みなさんは何のために勉強していますか。受験のため？親や先生にしろと言われるから？将来何かの役に立つかもしれないから？はたまたお金持ちになれるかもしれないから？みなさん一人ひとりに自分の理由があるのではないのでしょうか。もしかしたら理由なんてなく、ただ高校では勉強するもんだということでもなんとなく周りに合わせて勉強しているだけという人もいるかもしれません。

数学の話をしましょう。大丈夫、難しい話をするつもりではなく、ましてや数式なんて出てきません。1811年10月25日に生まれ、1832年5月31日に亡くなった数学者がいました。いくつで亡くなったかわかりますか。そう、亡くなったとき彼は弱冠20歳でした。最期はなんと決闘の末、腹膜炎という病気で亡くなりました。彼の名前はエヴァリスト・ガロア。みなさんは中学校で2次方程式の解の公式を覚えましたね。にーえーぶんの・・・のあれです。便利な公式でした。3つの数字を代入するだけで方程式の答えが出てきます。3次方程式にも同様に解の公式があります。そして4次方程式にも存在し、1545年に発表されたようです。次に気になるのは5次方程式の解の公式。公式を探す数学者たちの努力が続けられました。しかし、アーベルという数学者によって、公式は存在しないという結末を迎えます。アーベルによって証明されたのは1823年でした。4次方程式の発見から約280年が経っていました。なぜ5次方程式には解の公式が存在しないのか。「対称性」という考えを利用して、さらに深く考えを巡らせ5次以上の方程式には解の公式が存在しないことを示した数学者が例のガロアでした。ガロアが着目した対称性という考えから群という数学の概念が現れ、ガロア群・ガロア体・ガロア圏・ガロア表現など、彼の名前を冠したたくさんの定理や概念が現代に至るまでに生まれました。彼があと20年生きていたら数学の世界、ひいては世界の有り様は変わっていたかもしれません。それほど彼の数学者としての仕事の影響は多岐にわたり、重要なものでした。彼が友達に宛てた遺書が残っています。彼の考えた「群」の考え方を説明したその遺書の最後の言葉を引用してみます。

(略)・・・そうすればいつか、この雑然とした手紙を判読して、有益さに気づく人々が現れてくるだろうと思う。

心をこめて君を胸に抱きしめつつ。エヴァリスト・ガロア 1832年5月29日

みなさんはこれを読んでどういう感想をもつでしょうか。わたしには彼の後世の人たちへの期待が読みとれます。わずか20歳で生涯をとじた彼が自分が作った理論の豊かな内容を人類に残してくれたのだと。これはわたしの勝手な憶測ですが、彼は自分のために数学を勉強していたのではなく、もっと大きなもののために数学を勉強していたのではないかと思います。学校で学ぶことは全てがはるか昔から続いてきた人類の学問への営みの結晶です。少しでも受け継いでみなさんの子どもや後世に伝えていく。そんな考え方も素敵ではありませんか。みなさんは何のために勉強しますか？だれのために勉強しますか？

6月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 英検1次 ※教室棟立 入禁止	3 修学旅行 結団式	4 修学旅行 ~7日	5	6	7	8
9	10 ・期末考査 時間割発表 ・完全夏服移行	11	12	13	14 北信越総体 ~16日	15
16	17	18	19	20	21 自転車マナー 一斉指導	22
23	24 1学期期末考査 ①	25 1学期期末考査 ②	26 1学期期末考査 ③	27 1学期期末考査 ④	28 1学期期末考査 ⑤学校評価、授 業評価 避難訓練	29 PTA 清掃 ボランテ ィア
30 吹奏楽部 定期演奏会						

★期末考査に向けて脳トレ！

マッチを1本動かして正しい数式にしよう。

